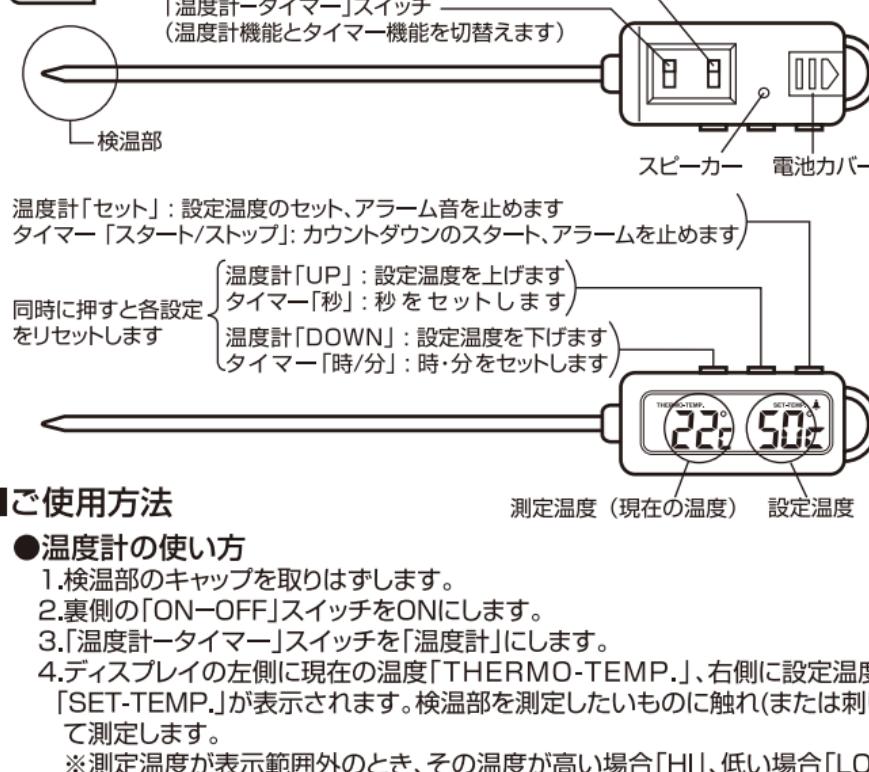


# 取扱説明書

## ■各部の名称



## ■ご使用方法

### ●温度計の使い方

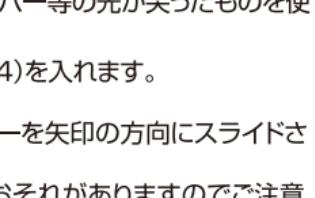
1. 検温部のキャップを取りはずします。
2. 裏側の「ON-OFF」スイッチをONにします。
3. 「温度計-タイマー」スイッチを「温度計」にします。
4. ディスプレイの左側に現在の温度「THERMO-TEMP.」、右側に設定温度「SET-TEMP.」が表示されます。検温部を測定したいものに触れ(または刺して)測定します。  
※測定温度が表示範囲外のとき、その温度が高い場合「HI」、低い場合「LO」と表示されます。(表示範囲は-50~+300°C)

### ●設定温度以上になったときアラームを鳴らす使い方

1. 設定温度の初期値は50°Cになっています。設定温度を低くする場合には「DOWN」ボタンを、高くする場合には「UP」ボタンを押してください。それぞれ押し続けると早く進みます。
2. 設定温度の入力を始めからやり直したいとき、アラームを解除したいときは「DOWN」「UP」ボタンを同時に押してください。(初期値の50°Cに戻ります)
3. 「セット」ボタンを押すと、「♪」マークが「鳴」マークに変わり、アラームがセットされます。この状態で測定温度が設定温度以上になるとアラームが鳴ります。  
※測定温度が設定温度よりも高いと「セット」ボタンを押すと同時にアラームが鳴ります。
4. 「セット」ボタンを押すとアラームは止まり、「♪」マークが「鳴」マークに変わります。  
※設定温度未満に温度が下がるとアラームは止まります。
5. 「セット」ボタンを押すとアラームは止まり、「♪」マークが「鳴」マークに変わります。
6. 電源を切ると設定温度はリセットされ初期値の50°Cに戻ります。

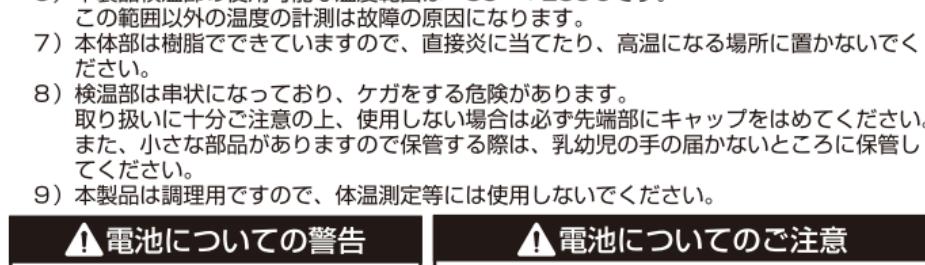
### ●タイマーの使い方

1. 「ON-OFF」スイッチをONにします。
2. 「温度計-タイマー」スイッチを「タイマー」にします。
3. 「時/分」ボタンで時間と分を入力します。  
分単位で設定し、60分を超えると1時間と表示されます。「秒」ボタンで秒を入力します。それぞれ押しつづけると数字が早く進みます。
4. 「スタート/ストップ」ボタンを押すとカウントダウンが始まります。
5. セット時間になるとアラームが鳴ります。アラームを止めるには「スタート/ストップ」ボタンを押してください。もとのセット時間に戻ります。(リピート機能)
6. リセットするには、「時/分」「秒」ボタンを同時に押します。  
※電源を切るとリピート機能はリセットされ00時00分00秒に戻ります。
7. ※ご使用後は「ON-OFF」スイッチをOFFにしてください。



## ■電池交換

1. 本体裏面の電池カバーを矢印の方向に押しながら横へスライドさせ、取りはずします。(図1参照)
2. 古い電池を抜き取ります。このときマイナスドライバー等の先が尖ったものを使い取り出してください。(図2参照)
3. 極性(+・-)を間違えないように新しい電池(LR44)を入れます。  
(+を上にしてください。)(図A参照)
4. 電池カバーのツメを穴に合わせてから、電池カバーを矢印の方向にスライドさせて閉じます。(図3参照)  
※電池の極性を間違えると液漏れ等が発生するおそれがありますのでご注意ください。
5. 電池セットが不完全だと正常に使用できない場合があります。



## ■ご使用上の注意

- 1) 本製品は防水構造ではありません。検温部以外は洗剤につけたり、水中に入れたり水洗い等は避けてください。
- 2) 静電気や電磁波(IH調理器や電子レンジなど)の近くで使用しないでください。故障や誤動作の原因になります。
- 3) 高温や磁気の多い場所に置かないでください。
- 4) 加熱、分解、充電、改造、水中や火中でのご使用は避けてください。
- 5) 落下や衝撃は故障の原因になりますのでご注意ください。
- 6) 本製品検温部の使用可能な温度範囲は-30~+250°Cです。この範囲以外の温度の計測は故障の原因になります。
- 7) 本体部は樹脂でできていますので、直接炎に当たったり、高温になる場所に置かないでください。
- 8) 検温部は串状になっており、ケガをする危険があります。取り扱いに十分ご注意の上、使用しない場合は必ず先端部にキャップをはめてください。また、小さな部品がありますので保管する際は、乳幼児の手の届かないところに保管してください。
- 9) 本製品は調理用ですので、体温測定等には使用しないでください。

### ▲電池についての警告

- ショートさせたり、分解、加熱はしないでください。また、火中に投じないでください。発熱、液漏れ、破裂の原因になります。
- 電池は乳幼児の手の届かない所に置いてください。万一飲み込んだ場合には、直ちに医師に相談してください。
- 電池を廃棄する場合および保存する場合には、テープなどで絶縁してください。他の金属や電池とまじると発火、破裂の原因になります。

### ▲電池についてのご注意

- 下記のことを必ず守ってください。電池の使い方を間違えますと、液漏れや破裂のおそれがあり機器の故障、けがの原因となります。
- ※電池の極性(+・-)を正しく入れてください。
  - ※使い終わった電池はすぐに器具から取り出してください。
  - ※長期間使用しない場合は電池を取り出しておいてください。
  - ※電池を廃棄するときは、お住まいの自治体の指示に従ってください。

## ■保証規定

- 次のような場合には、保証期間内でも有料修理になります。  
※誤ったご使用、不注意、落下、不当な修理、分解、改造、天災、地変等による故障または損傷。  
※ご使用上に生じる外観の変化。  
※本保証書に販売店、およびお買上げ年月日の記載がない場合、字句を書き換えられた場合。  
※本保証書のご提示がない場合。
- 一般家庭以外(例として、業務用としての使用)に使用された場合の故障および損傷。
- 有料修理の場合、修理品の運賃、修理部品代、技術料はお客様にてご負担願います。
- 電池は保証対象外です。
- お買い上げ後1年間の保証期間内に、正常なご使用状態で故障した場合には本保証書をご持参、ご提示の上、お買い上げ店にご依頼ください。無料で修理、調整いたします。
- この保証書は本書に明示した期間において無料修理をお約束するものです。この保証書によって保証書を発行している者およびそれ以外の事業者に対するお客様の法律上の権利を制限するものではありません。
- 本書は日本国内においてのみ有効です。(This warranty is valid only in Japan.)
- 保証書は再発行いたしませんので、紛失しないよう大切に保管してください。
- ご使用上の注意を守らないことにより損害が生じた場合、当社は一切責任を負いません。